

新学習指導要領の下での学習評価の考え方と評価方法等についての解説(国語科編)

今までの評価の観点

- ①話すこと・聞くこと
- ②書くこと
- ③読むこと
- ④関心・意欲・態度

新学習指導要領における評価の観点

①知識及び技能

- (1) 言葉の特徴や使い方【漢字，話し言葉書き言葉，主述，語彙】
- (2) 情報の扱い方【考え理由，原因結果，情報の取り出し，辞書】
- (3) 我が国の言語文化【言葉遊び，ことわざ慣用句，書写】

②思考力，判断力，表現力等

- A 話すこと・聞くこと
- B 書くこと
- C 読むこと

③主体的に学習に取り組む態度

- (1) 粘り強く取り組む姿勢
- (2) 自らの学習を調整しようとする側面

3つの領域を総合して
内容のまとめりごとで
評価をつける

あゆみをつけるとして，具体的に項目にすると…

①知識及び技能

- 漢字の読み書き（プリント・テスト）
- 言語力を見取るもの（プリント・テスト・ワークシート）
- 情報整理をみるもの（人物相関図，段落構成図）

思考力・判断力・表現力等
と関連させた指導のなか
で，見取る観点を明確に

②思考力・判断力・表現力等

- スピーチ（原稿，実際に話している様子，聞いて感想を書かせ，内容を捉えているか）
- 意見文，パンフレット，報告書（成果物，構成を考える段階のワークシート）
- 読み取る力をみるもの（テスト，要約文，人物の気持ちを考えて書く）

③主体的に学習に取り組む態度

- 粘り強さ（積極性，進んで，粘り強くが見えるかどうか）
⇒人に相談・アドバイス，調べる，多読へつなげている など
- 調整力（見通し，課題に沿って，今までの学習を生かして）
⇒見比べて変化・強化，熟慮，吟味，最初と最後の変容（なぜ，そうした？それを選んだ？）
- 特に自らの調整が必要となる言語活動場面（自分で決め，調べ，考え，作る活動）

単元ごとではなく，学期を通
してこの項目で見取り，ふり
返しをして，それらをまとめ
て判定する

①②については，単元のどこでそれを記録に残すのか考え，準備して置く必要がある。また，上記以外に単元の最初に子どもと共有する「学習問題，単元を貫く問い」の到達度を見るものも入ってくるはず。また③が見取れるような学習場面（主体性が磨かれる学習活動，「次はこうしよう」「最初はこうだったけど，こんな風になった」など自己の学びを調整するふり返りの時間）をきちんと仕組まないと評価できる場面が生まれにくい。指導者が何を見取るのか理解していないといけない。

東京書籍のデータベースを使う上で気を付けないといけないこと

例) 2年生 たんぽぽのちえ

- 単元目標
- ◎ (事柄の) **順序** など情報と情報との関係について理解することができる。(知識・技能)
 - ◎ **時間的な順序** (や事柄の順序) などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。(思考力・判断力・表現力等)
 - 文章の中の重要な語や分を選び出すことができる。(思考力・判断力・表現力等)

力がついたか見るために最後にテストをしよう

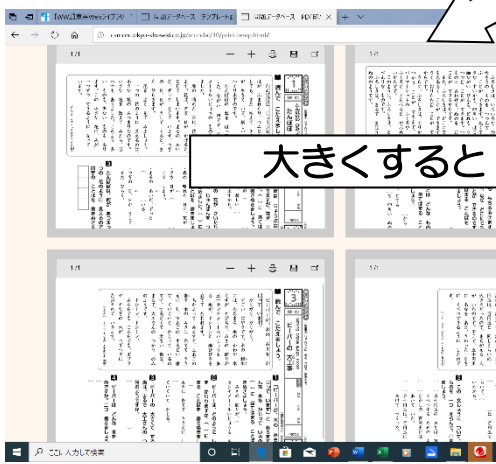


2 ページ

たしかめ	1	★★たんぽぽ	46 ページ
たしかめ	2	★★ふろしきは どんな ぬの	
たしかめ	3	★★ピーパーの 大工事	
たしかめ	4	★★あなの やくわり	

データベースを開いて

たんぽぽのちえに対応しているのはこの4つだからそのたしかめのプリントを見てみよう。



大きくすると

たんぽぽは、じょうぶな 草です。はが、ふまれたり、つみどられたりしても、また 生えて きます。ねが 生き出 すの です。

たんぽぽの ねを ほって みま した。ながい、ねです。百センチメートルいじょうのものもあり ました。

春の 晴れた 日に、花が さき ます。花は、夕方 日が かげると として しま います。よるの あい だ、ずっと として います。つぎ の 日、日が さして くと、ま た ひら きます。

花を よく 見て みま しょう。 一つの 花の ように、見えるのは、 小さな 花の あつ まり なの です。 小さな 花を 数えて みたら、百 八十八も あり ました。これより 多 いものも、少ないものも あり ます。この 小さな 花に、みが 一つ ずつ でき ずうに なっ て います。

順序に気を付けて読むのはたんぽぽとピーパーの2つか

その単元ではどの内容項目に重点をあてて学習していくのか指導者がきちんと理解していないと、適切なテストが選べない。

データベースのメリット・デメリット

- 学年費の負担が安い (会計処理の際、金額が小さく計算が楽。就学援助はそれだけで支払えるかも)
- プリント作成が簡単 (自習準備、宿題作成、夏冬休みの宿題作成、できる子へのチャレンジ問題など)
- 家でも作業ができる (スマホからもアクセスできる)
- 選ぶために自然と重点を置く内容項目が明確になる。
- テストという意味で問題の質・量は微妙なところがある。(国語はテストを買ってもいい気もする…)
- カラーで見られない。